

2021年4月22日

加盟団体各位  
関係団体各位

公益財団法人日本アイスホッケー連盟  
会長 水野 明 久



### 新型コロナウイルス感染クラスター発生事例紹介と更なる注意喚起について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当連盟事業に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大が長期化する中、感染予防・防止策を継続することで、全国的にスポーツ活動も徐々に活発になりつつあります。

そんな中、比較的感染者数が少ない地域の複数のアイスホッケーチームが合同で開催した練習が関係すると思われるクラスター発生事例が報告されました。

クラスター発生の真の原因を特定し究明することはできませんが、今回のケースは、長期化する新型コロナウイルス感染対策への慣れや緩みが生まれ、自分は感染しないという思い込みや、仲間や家族へうつさない為の配慮の薄れが、クラスター発生を招いた要因であると疑われます。

その事例を下記のとおり皆様に共有いたしますので、変異株の広がりも心配される中、今一度、感染拡大に立ち向かった原点に立ち返り、今まで以上に感染予防・防止に取り組むよう関係団体・関係者へ注意喚起くださいますようお願いいたします。

#### 記

##### 『クラスター発生事例紹介』

感 染 者：Aチーム所属 17名中、選手 11名

Bチーム所属 9名中、選手 2名

同練習にビジター参加した選手 8名中 3名 (4月21日時点 16名感染確認)

結果判明経緯：Aチーム選手 1名が練習の翌々日に発症し、検査を受け陽性が判明した。

保健所より、当該練習に参加した全員が濃厚接触と認定され、検査を実施しAチーム選手 10名の陽性が判明した。同練習に参加したBチーム及びビジター選手も検査を受け 5名の陽性が判明した。

保健所見解：移動中や練習会場内などでマスクを着用せずに行動を共にするケースが数多くあったこと、練習中飲料ボトルを共用していたことなどにより全員を濃厚接触者と認定した。(各地の保健所によって見解が異なる可能性あり)

環境・状況：練習会場へは、相乗り自家用車を利用して片道 1時間程度移動している。会場内にチームで利用する更衣室やベンチはなくリンクサイドで着替え、休憩、ミーティング等を行う施設環境である。

JIHf 「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策としてのアイスホッケー活動再開ガイドライン」

[https://www.jihf.or.jp/common/img/info/info\\_20200701\\_092117.pdf](https://www.jihf.or.jp/common/img/info/info_20200701_092117.pdf)

IIHF 「2020\_ IIHF\_安全にアイスホッケー活動に戻るためのロードマップ」

[https://www.jihf.or.jp/image\\_data/RULE/45\\_1.pdf](https://www.jihf.or.jp/image_data/RULE/45_1.pdf)

以上